

ランチョンセミナー

日時: 3月30日(水) 12:00~12:50

会場: E 会場 (札幌コンベンションセンター 小ホール)

プログラム No.: LS4 - 4

最新 Q-ToF MS を用いた 食品メタボロミクスの分析と包括的解析手法 ～有意な差の成分の抽出・同定はどのように行う?～

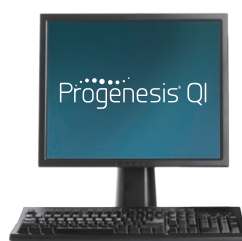
環太平洋パートナーシップ (TPP) 協定の大筋合意に伴い輸出入の規制緩和が見込まれるとともに、付加価値が高く良質の日本食品の海外進出が期待されます。

Q-ToF MS を用いた食品のメタボロミクス分析は良質な製品の開発・生産を支援する手法の1つです。食品メタボロミクス分析では、アルコールやアミノ酸を始めとする一次代謝物、カロテノイドや色素などの二次代謝物、製造工程で生じるメイラード化合物、香り成分のフレーバーなど対象化合物が多岐にわたります。

このため、Q-ToF MS 前段のクロマトグラフィーも LC (逆相および HILIC)、GC など様々な分離モードが要求され、得られた膨大な情報から差異成分を効率よく抽出、同定することが必要です。

本セミナーでは最新の Q-ToF MS に LC や GC を組み合わせた網羅的分析システムと視覚的で効率的な解析が行えるソフトウェアを用いた食品製品や植物サンプルについてのアプリケーションをご紹介します。

Vion™ IMS QToF



イオンモビリティ質量分析計

日本ウォーターズ株式会社 www.waters.com

東京本社 〒140-0001 東京都品川区北品川 1-3-12 第5小池ビル TEL 03-3471-7191 (代表) FAX 03-3471-7118
大阪支社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 11F TEL 06-6304-8888 (代表) FAX 06-6300-1734

ショールーム 東京 大阪
サービス拠点 東京 大阪 札幌 福島 静岡 富山 名古屋 徳島 福岡